

# 論点①介護の質の評価と科学的介護の推進（CHASE・VISIT）

## 論点①

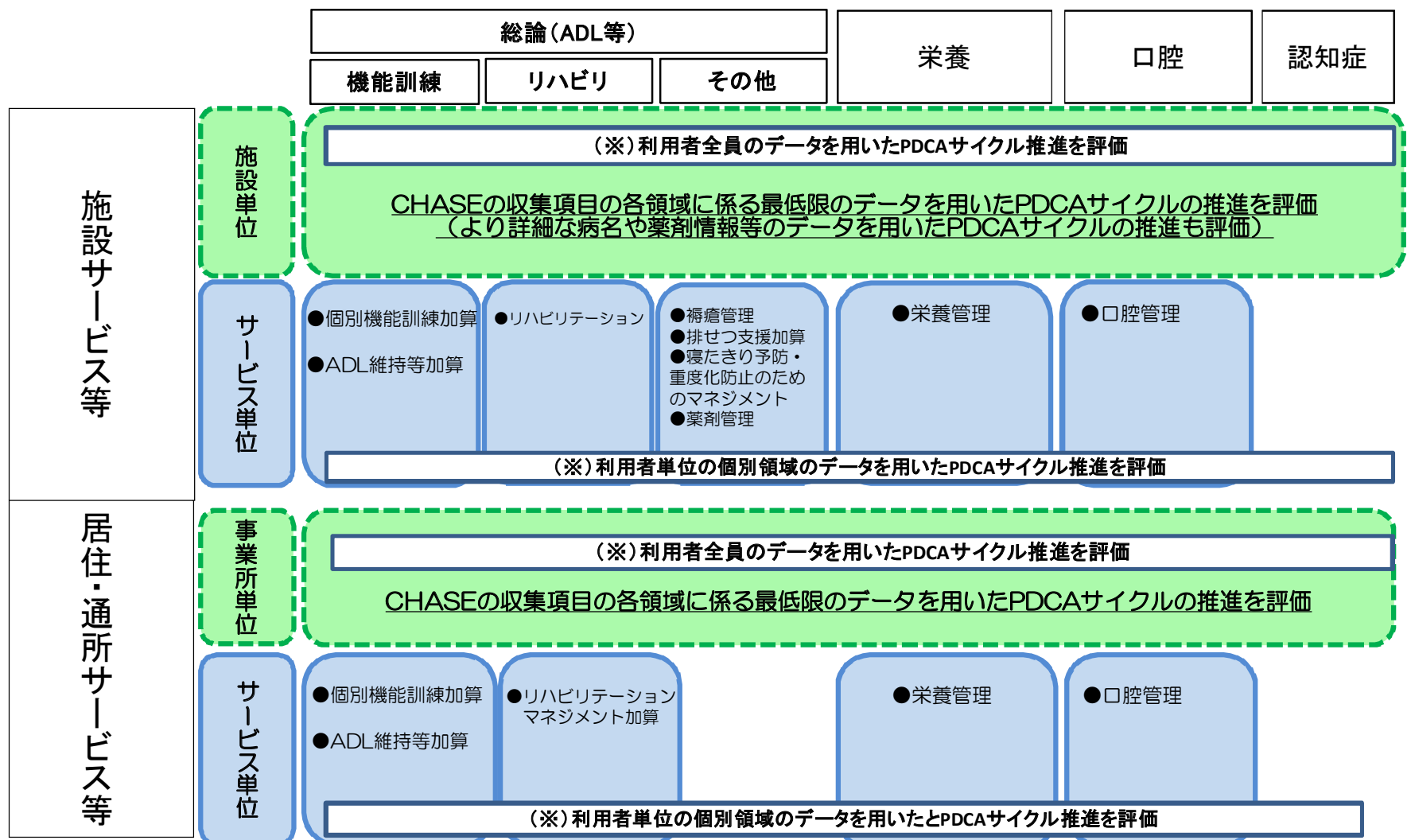
- 介護保険サービスにおける質の評価のあり方に係るこれまでの議論を踏まえ、今後、CHASE・VISIT等により介護の質の評価と科学的介護を推進し、介護サービスの質の向上を図っていくため、どのような対応が考えられるか。

## 対応案

- CHASEの収集項目の各領域（総論（ADL）、栄養、口腔・嚥下、認知症）について、事業所の全ての利用者に係るデータを横断的にCHASEに提出してフィードバックを受け、それに基づき事業所の特性やケアの在り方等を検証して、利用者のケアプランや計画に反映させるといった、事業所単位でのPDCAサイクルの推進・ケアの質の向上の取組を評価してはどうか。また、提出・活用するデータについては、サービスごとの特性や事業所の入力負担等を勘案した項目とするとともに、これに加えて、詳細な既往歴や服薬情報、家族の情報等より精度の高いフィードバックを受けることができる項目を提出・活用した場合には、更なる評価を行うこととしてはどうか。
- CHASEの収集項目の各領域に関連する既存の加算等（例えば、個別機能訓練加算、口腔衛生管理加算、栄養マネジメント加算など）において、利用者ごとの計画書の作成とそれに基づくケアの実施・評価・改善等を通じたPDCAサイクルの取組に加えて、CHASE・VISITへのデータ提出とフィードバックの活用により更なるPDCAサイクルの推進・ケアの質の向上を図ることを評価・推進してはどうか。
- 上記の評価の対象とするサービスについては、CHASEの調査研究事業等の取組を踏まえ、施設系サービス、居住系サービス及び通所系サービスを対象として検討するとともに、他のサービスについても継続的に検討を進めていくこととしてはどうか。
- 介護関連データの収集・活用及びPDCAサイクルによる科学的介護を推進していく観点から、全てのサービスについて、CHASE・VISITへのデータ提出とフィードバックの活用を推奨してはどうか。
- 事業所の入力負担の軽減やデータの精度管理等の観点から、介護記録ソフトとのデータ連携を進めるとともに、必要な研修やマニュアル等の整備を行うなど、事業所のデータ入力等を支援する体制整備を進めることとしてはどうか。
- CHASE・VISITを一体的に運用する観点から、VISIT情報についても対象サービスを拡大し、上記の枠組みに位置付けて収集・活用することとしてはどうか。また、CHASE・VISITについて、科学的介護の理解と浸透を図る観点からも、統一した名称としてはどうか。

（※全体イメージについて、次頁参照）

## VISIT・CHASEによるPDCAサイクルの推進に係る評価の全体像（イメージ）



（※ 加算等による評価の有無に関わらず、すべてのサービスにおいてVISIT・CHASEによるデータの利活用を進める。）